

2013 春闘勝利総決起集会

「働くことを軸とする安心社会」の実現を求める！

～参議院議員選挙を勝利しよう～

「2013 春季生活闘争勝利・参議院選挙勝利福島県中央総決起集会」は、3月2日降りしきる雪の中、福島市の県庁前東広場において、県北地域の構成組織から約1,300名が参加し開催された。

主催者を代表して影山道幸連合福島会長は「連合福島に結集する構成組織は、傷んだ雇用や労働条件を復元し、様々な格差を是正して、すべての働く仲間に働きがいのある人間らしい仕事を社会全体に行き渡らせ、内需拡大と持続可能な成長を成し遂げるため、今次闘争を積極的に取り組まなければならない。同時に、運動の両輪として位置付けている政策制度の実現も重要な取り組みであり、当然のことながらその実現には政治の力が必要である。従って7月に予定されている参議院議員選挙の勝利に向けた取り組みも極めて重要である。組織内8名の候補者の勝利と福島県選挙区金子恵美参議院議員の勝利を何としてでも勝ち取らなければならない。そして、その勝利によって『働くことを軸とする安心社会』の実現を求めて行かなければならない。」と挨拶した。



主催者代表挨拶をする影山道幸連合福島会長

また、集会の中では構成組織を代表して、自治労福島県本部の今野書記長、情報労連福島県協議

会に代表して、自治労福島県本部の今野書記長、情報労連福島県協議



集会に参加した構成組織の皆さん

会の菅野事務局長、JAM南東北福島県連絡会の半澤副会長から、今次春闘に対する取り組みの決意が述べられた。更に、金子恵美参議院議員から7月の参議院議員選挙に向けての決意表明がなされた後、真弓副会長から集会アピール（案）が読み上げられ、最後に影山会長のガンバロー三唱で集会は幕を閉じた。

集会終了後、直ちにデモ行進に入り、県庁から福島駅前まで、沿道の市民に2013春闘の主張をアピールした。



デモ行進で春闘の主張をアピール